

北海道大学国際本部留学生センター主催
第28回日本語・日本語教育研修会

日本語教育におけるプロジェクトワークの力！

講師：Gehrtz 三隅 友子 氏（徳島大学教授）

コミュニケーションを重視した学習活動としてのロールプレイ・シミュレーションそしてプロジェクトワークは現在日本語教育において実施されている。筆者も1990年代初めに出会い、研修を受け、その後自身の教育現場で実践を続けてきた。理念としてわかっているにもかかわらず実際に学習者に対してどのように働きかけ、最終段階へと向かうのかを模索しながら、学習者、空間、教材、同僚教師との関わり、さらに自分自身の教育観との整合性といった様々な問題をその度考え解決してきたように思う。今回はまずプロジェクトワークの元来の理念にふれ、言語教育とその歴史的な変化を確認し、プロジェクトワークを通じたこれからの日本語教育の可能性を参加者とともに考えたい。

記

と き：平成26年3月21日（金）13:00～16:00

ところ：北海道大学国際本部留学生センター大講義室（センター2F）

参加費：無料 ※ 事前のお申し込みは必要ありません。当日会場へ直接お越しください。

問い合わせ先：小河原義朗（北海道大学留学生センター）

ogawara@oia.hokudai.ac.jp, TEL: 011-706-8010（直通）

oooooooooooo 講師プロフィール oooooooooooooo

Gehrtz 三隅 友子（げーるつ みすみ ともこ）

- ・神戸大学大学院教育学研究科修士課程修了後、国立国語研究所日本語教育長期研修にて「プロジェクトワーク」と出会う。1994年10月から国際交流基金関西国際センター日本語教育専門員、2000年徳島大学総合科学部助教授、2008年12月より現職（徳島大学国際センター教育部門教授及び地域創生センター教授兼任）。
- ・日本語学校・日本語研修機関・日本語教師養成講座・大学等でプロジェクトワークを中心とした教育活動を展開。また2013年から「文部科学省委託事業、留学生交流拠点整備事業-とくしま異文化キャラバン隊-」で徳島を舞台に実践中。

<論文・発表：プロジェクトワーク関連>

- ・「ボランティアによる日本語学習支援システム-日本語教師の新しい役割」1993 平成5年度秋期大会発表要旨（日本語教育82号）
- ・「地域と作る演劇と日本語教育-まほろば国際プロジェクト3年間の活動を経て-」第23回日本語教育連絡会議2010
- ・「プロジェクトワーク再考-新たな日本語教育の可能性-」第24回日本語教育連絡会議2011